

受付番号
受付日

東京農工大学大学院連合農学研究科
学位論文審査申請関係確認等
《 課程博士用 》

学位論文 申請者 氏名等	氏 名	学籍番号	
	専攻	大 講 座	
	入学年度	平成・令和	年 月 入学
	配置大学		
満期退学者 のみ記入	平成・令和		年 月 日 満期退学

学位論文申請提出期限：令和4年12月1日(木) 16時まで

※学位論文申請者データの送付は、令和4年11月30日まで(厳守)

<input type="checkbox"/> 学位授与報告に係る事項確認票	1部
<input type="checkbox"/> 学位論文審査申請書 (別紙様式1)	1部
<input type="checkbox"/> 学位論文 正本 [和文又は英文] 主指導教員へ直接お渡し下さい	1部
<input type="checkbox"/> 同上 副本 [和文又は英文]	4部
<input type="checkbox"/> 同上 PDF版 (論文盗用システムでの事前チェックに使用します。メール又はUSBで提出のこと。)	1部
<input type="checkbox"/> 学位論文要旨 A4判片面印字2枚 (和文2,000字又は英文800語程度)	6部
<input type="checkbox"/> 学位論文目録 (別紙様式2)	1部
<input type="checkbox"/> 既発表論文目録 (別紙様式3)	6部
<input type="checkbox"/> 既発表論文の別刷	1部
<input type="checkbox"/> 掲載学術誌に関する根拠資料	1部
<input type="checkbox"/> 根拠資料提出用チェックシート (掲載学術誌ごとに1枚作成)	1部
<input type="checkbox"/> 口頭発表一覧 (別紙様式4)	1部
<input type="checkbox"/> 同意承諾書 (別紙様式5) (共著論文について指導教員以外の者)	論文毎に1部
<input type="checkbox"/> 学位論文審査委員会委員の推薦について	原本1部・コピー5部
<input type="checkbox"/> 学位論文発表会の開催に伴う関係者への周知について	原本1部・コピー5部
<input type="checkbox"/> 学位論文申請者データ (EXCELファイル・ http://www.tuat.ac.jp/~uni-grad/yoshiki.htm からダウンロード)	1部
※申請前に入力し rennougk@cc.tuat.ac.jp へ送信し、プリントアウトしたものを提出	

※「学位論文審査委員会委員の推薦について」「学位論文発表会の開催に伴う関係者への周知について」の用紙は、主指導教員へ依頼し、申請期日までに必ず提出すること。

※ 審査委員が6名になる場合は、上の表で4部、5部、6部となっている書類を、1部ずつ多く提出すること。

修了予定者（主指導教員） 各位

学位論文製本の提出について

平成 25 年 4 月 1 日から、学位規則が改正され、学位論文・学位論文要旨の公表の方法は、インターネットの利用により行うこととなりました。

製本・データの提出方法等については別添「留意事項」をご参照いただき、ご準備ください。公表に関しては、連合農学研究科ホームページ

(<http://www.tuat.ac.jp/~uni-grad/yoshiki.htm>) に「博士学位論文のインターネット公表のためのガイドライン」を掲載しておりますので、内容をご確認の上、遺漏のないよう手続を行って下さい。また、様式についてもホームページに掲載しております。なお、公表保留を申請される場合には、事務室へお申し出ください。

注意) 学位論文の内容に関して、構成論文に共著者がいる場合は、インターネット公表に際して、共同研究者等、公表にあたり承諾が必要な方には予めご連絡いただく等、著作権や個人情報等に係る問題が起きないように十分な対応をしてください。

学位論文審査要件にかかる学術誌の認定基準の申し合わせ

(平成 16 年 11 月 22 日代議委員会承認、平成 22 年 2 月 18 日一部改正、平成 22 年 5 月 17 日改正、平成 29 年 4 月 1 日一部改正)

I. 発表言語

下記 II、または III に規定する学術誌に掲載された日本語あるいは英語で記載された論文であること。

II. 日本国内学術誌

日本国内学術誌の認定基準は、以下の規定する学術研究団体が発行するレフェリー制のある学術誌に掲載されたものとする。

1. 日本学術会議会員推薦委員会による協力学術研究団体に記載された団体で次の

全ての項目を満たしている団体（申請者等の当該者に、一～六を確認できる関連書類を提出させることがある）

- 一 名称、目的、事務所、構成員の資格及び代表者について定めがあること。
- 二 学術研究の向上発達を図るための活動が 3 年を超えて行われていること。
- 三 構成員による学術研究の発表又は討論のための集会を年 1 回以上開催していること。
- 四 学術研究論文（概要及び抄録を含む）の発表のための刊行物（自然科学分野におけるものにあつては、査読制度又はこれに準ずる制度がもうけられているものに限る）を年 1 回以上発行していること。
- 五 運営及び活動に係る方針を決定する総会又はこれに準ずるものを年 1 回以上開催していること。
- 六 構成員の資格を特定の地域内に居住し、又は勤務している者に限ってないこと。

2. 日本学術会議会員推薦委員会による協力学術研究団体に記載されていない団体で前 1. の一～六の全ての項目を満たしていると代議委員会が判断した団体（申請者等の当該者に、一～六を確認できる関連書類を提出させるものとする）。

III. 国際学術誌

国際学術誌の認定基準は、Clarivate Analytics 社の Journal Citation Reports に記載されている学術誌とする。

学位論文要旨の原稿作成要領

1. 用紙の大きさは、A 4 判で、左横書き 2 枚とする。
和文の場合は 2,000 字程度、英文の場合は 800 語程度。
2. ページの書式は 40 行、1 行 35 文字で、上下 3 cm、左右 2 cm の余白をとる。
3. 文字の大きさは約 10.5 ポイントとする。字体は和文の場合は明朝体、英文の場合はローマン体とする。ただし学名等学術用語は所定の字体とする。
4. 1 ページ目の 2 行目に「学位論文要旨」の文字を 1 字空けで中央に記載する。
5. 5 行目から題目（和文の場合には英訳を併記、英文の場合には和訳を併記）、題目から 1 行空けて、専攻名 連合講座名を、次の行に氏名をそれぞれ中央に記載する。
6. 20 行目から本文を記載する。

学位授与報告に係る事項確認票

次について正確に記載し、学位論文申請の際に提出してください。

㊦漢字圏の者は本国で使用する漢字を記載、英語圏の者は大文字小文字、順番を明記のこと。

満期退学者のみ記入	平成・令和	年	月	日満期退学
学籍番号	入学年度 平成・令和 年 月 入学			
フリガナ Furigana Name 氏名 Name in Full (In English)	()			
<p>※ 外国人留学生は、母国語の発音による『フリガナ』を記入してください。 The international student must fill in 'Furigana name' by the pronunciation of the mother tongue.</p>				
性別 Gender	<input type="checkbox"/> 男性 (Male) / <input type="checkbox"/> 女性 (Female) ※ Please Check the box that applies to you.			
生年月日 Date of Birth	西暦 (Christian era) 年 (Year) 月 (Month) 日 (Day)			
Japanese Student 本籍	都道府県			
International Student 国籍 Nationality				
現住所 Current Address	〒			
	E-Mail			
	電話番号 (Telephone) :		携帯 :	
博士論文の公表	<p>※ インターネットの利用により閲覧に供する。 1年以内</p> <p>※ 上記の公表以外に印刷公表予定がある場合は、公表 (予定) 年月日、出版物の種類 (学会誌、学内誌、単行本の別) とその正式名称及び学会名・出版社等名を記載する。</p> <p>()</p>			
上記承諾の上 自署サイン	*受付時にサインをすること。			

学位論文審査申請書

令和 年 月 日

東京農工大学大学院
連合農学研究科長 殿

連合農学研究科

専攻
大講座

平成・令和

年

月入学

氏名

東京農工大学学位規程第3条第3項の規定に基づき下記学位論文の審査及び最終試験を受けたいので申請します。

記

学位論文名

英訳 又は 和訳

{

}

主指導教員（署名）

第1副指導教員

第2副指導教員

注：学位論文が和文の場合は英訳を、英文の場合は和訳を併記すること。

英文表記は、パソコン等で印字すること。

学位論文目録

令和 年 月 日

氏 名

学位論文

1. 題 目

英文の場合、和訳

(

)

2. 公表の方法及び時期

方 法 インターネットの利用により閲覧に供する。

時 期 1年以内

参考論文

既発表論文目録（別紙様式3）添付

既発表論文目録の記載について

発表年の古い順に記載し、論文等ごとに著者名（全員）、題目・発表誌名（国内誌は発行学会名を（ ）書で記載）・巻・号・ページ、年月を順に記載する。なお、記載は添付する別刷り等の表記に合わせること。

記載欄が不足のときは別紙（A4判）により補う。

記載例

・日本国内学術誌

農工 太郎, 農工 花子, 環境の違いから見た魚類に対する効果,
農業農村工学会論文集（農業農村工学会）, 262巻, 3号, 120～
134, 2009年6月

農工 太郎, 絶滅危機植物の保全及び技術開発, 日本農業教育学会誌
（日本農業教育学会）, 36巻, 1号, 20XX年（印刷中）

・国際学術誌

T. NOKO, H. NOKO, Structural Insights into the Substrate
Specificity and Function of #####, Journal of Molecular
Biology, Vol. 39, No. 9, 86～97, 2009 Sep

T. Noko, H. NOKO, Characterisation of volatile
compounds generated in crushed leaves, Food Chemistry,
20XX, (in press)

1. 学位論文を構成する論文・著書（学位論文提出要件を満たすもの）について

- ・学術誌リスト記載の学術誌については、根拠資料の提出を要しないので、「根拠資料提出用チェックシート」に学術誌名を記入

学術誌リストはこちら…

<http://www.tuat.ac.jp/documents/uni-grad/shinsei/gakujutushi/gakujutsushi.pdf>

- ・日本国内学術誌については、本研究科で規定する「学位論文審査要件にかかる学術誌の認定基準の申し合わせの一部改正について、II. 日本国内学術誌」に定める条件を満たすことを証明する根拠資料を添付のこと。
根拠資料は、「根拠資料提出用チェックシート」参照のこと。
- ・国際学術誌については、本研究科で規定する「学位論文審査要件にかかる学術誌の認定基準の申し合わせの一部改正について、III. 国際学術誌」に定める条件を満たすことを証明する根拠資料を添付のこと。
根拠資料は、「根拠資料提出用チェックシート」参照のこと。

根拠資料提出用チェックシート

掲載学術誌名

I 学術誌リストに記載されている学術誌については、根拠資料提出不要

リストに記載 あり なし

学術誌リストはこちら…

<http://www.tuat.ac.jp/documents/uni-grad/shinsei/gakujutushi/gakujutsushi.pdf>

II 日本学術誌認定基準

1. 日本学術会議会員推薦委員会による協力学術研究団体に記載されている団体で次の一～六の全ての項目を満たしている団体

2. 日本学術会議会員推薦委員会による協力学術研究団体に記載されていない団体で、次の一～七の全ての項目を満たしている団体（代議委員会で判断する）

に を入れる

根拠資料	認定基準 1	認定基準 2
日本学術会議HP上の登録学会名が記載されている部分	1 <input type="checkbox"/>	
発行学会雑誌名が記載されている部分	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
投稿規定の中でレフェリー制が確立されていることを示している部分	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
一 名称、目的、事務所、構成員の資格及び代表者について定めがあることを示している部分	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
二 学術研究の向上発達を図るための活動が3年を超えて行われていることを示している部分	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
三 構成員による学術研究の発表又は討論のための集会を年1回以上開催していることを示している部分	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
四 学術研究論文（概要及び抄録を含む）の発表のための刊行物（自然科学分野におけるものにあつては、査読制度又はこれに準ずる制度がもうけられているものに限る）を年1回以上発行していることを示している部分	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
五 運営及び活動に係る方針を決定する総会又はこれに準ずるものを年1回以上開催していることを示している部分	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
六 構成員の資格を特定の地域内に居住し、又は勤務している者に限らないこと。	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>

III 国際学術誌認定基準

Clarivate Analytics 社の Journal Citation Reports に記載されている学術誌であること
根拠資料：Journal Citation Reports 当該雑誌名の記載部分

※「根拠資料提出用チェックシート」の提出方法について

全ての項目において、根拠が掲載されている規程等を印刷し、該当箇所に蛍光ペン等で色づけし添付して下さい。

口頭発表一覧

1. 学位論文を構成する口頭発表
2. その他の口頭発表に区分して発表年順に記載し、発表者名（全員）、題目・発表学会名・年月を順に記載する。記載欄が不足の時は別紙（A4判）により補う。（ポスター発表含む）

1. 学位論文を構成する口頭発表

2. その他の口頭発表

令和 年 月 日

東京農工大学大学院
連合農学研究科長 殿

承諾者(自署)

同意承諾書

下記論文の成果を _____ 氏が学位論文に使用することを承諾しました。
なお、当該論文は、学位論文として過去において使用しておらず、また、将来においても使用
しません。

記

著書・論文名

発行所・掲載誌名

巻・号・ページ

発表年

注1 論文かつ研究者ごとに、共同研究者全員から承諾を得る。

注2 同意承諾書が複数必要な場合はコピーして使用可。

令和 年 月 日

東京農工大学大学院
連合農学研究科長 殿

主指導教員(自署)

学位論文審査委員について (推薦)

このことについて、学位論文申請者 _____ の学位論文審査委員として、下記のとおり推薦しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

区 分	委員名	所属大学
主 査		
副 査		

令和 年 月 日

東京農工大学大学院
連合農学研究科長 殿

学位論文審査委員会

主 査(自署) _____

学位論文発表会の開催に伴う関係者への周知について (依頼)

このことについて、下記のとおり学位論文発表会（公開）を開催することとしましたので、関係者への周知方よろしくお取り計らい願います。

記

学位論文申請者氏名 _____

学位論文名

開催日時： 令和 年 月 日 ()

_____ 時 分 ～ 時 分

開催場所：(開催場所の大学欄にチェックを入れて下さい。)

茨城大学農学部 宇都宮大学農学部 東京農工大学農学部

建物名称 _____

階 数 _____

部屋番号 _____

同通称(名) _____

-参考-

以降は、学位授与決定後（3月1日以降3月3日まで）に提出いただくものですが、必ず必要となる書類ですので、確認しておいてください。

各様式は、連大 HP (<http://www.tuat.ac.jp/uni-grad/shinsei/index.html>) からダウンロードして下さい。

修了予定者（主指導教員） 各位

博士学位論文インターネット公表について

平成 25 年 4 月 1 日から、学位規則が改正され、学位論文・学位論文要旨の公表の方法は、インターネットの利用により行うこととなりました。

○ 公表は、学術機関リポジトリを利用して行います。以下、1～3 の提出物は、リポジトリ登録に係るため、**学位取得者全員が必ず提出**する必要があります。

1. **博士論文の公表申請書（様式 11）**：学位論文を構成する論文等に共著者（指導教員も含む）がいる場合で、学位取得者と指導教員が必要と判断した場合は、**共著者の承諾書（様式 12）**を添付してください。なお、この承諾書は、学位論文申請時に提出したものとは様式が異なりますので、ご注意願います。
2. 登録用の**論文データと論文要旨データ**：PDF/A 形式で作成して、メールにファイル添付して送付してください。
3. **主指導教員の承諾書（様式 15）**
4. **論文の製本 1 部**：作成要領は別紙のとおりです。

○ やむを得ない事情により、当面公表を保留することはできます。ただし、公表保留を申請する場合でも、上記 1～4 は提出必須ですのでご注意ください。公表保留申請希望者は、連合農学研究科事務室へ様式等を申請してください。なお、公表保留中であっても、東京農工大学図書館内に於いて、直接閲覧の申請があった場合には、論文の全文を閲覧に供することとなります。